

2019年度スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
北海道地域セミナー 報告書

| | |
|-------|--|
| 日時 | 2019（令和1）年6月14日（金）13：30－16：30 |
| 会場 | 北海道庁本庁5階会議室 |
| 参加者 | 34名（北海道教育庁4名、推進校担当者15名、教育局指導主事14名、日本体育大学1名） |
| プログラム | <p>13：30 開会挨拶 北海道教育庁学校教育局健康・体育課 課長 山上和弘</p> <p>13：35 「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」について 全体概要の説明、他地域拠点の実践紹介、オリンピック・パラリンピック教育に関する教材の紹介、日本体育大学の支援、報告書およびアンケート調査 日本体育大学 特別研究員 乳井勇二</p> <p>14：05 北海道の取組 推進校への説明、計画書・報告書、協力校について、支援プロジェクト、教育局との連携 北海道教育庁学校教育局健康・体育課 主査 内海久</p> <p>14：35 事務連絡・質疑応答</p> <p>14：55 昨年度推進校の実践発表 ・網走市立東小学校、北海道恵庭南高等学校</p> <p>15：15 演習・協議 ・年間行事予定からの洗い出し ・校種別グループ協議 ア 効果的な取り組みに向けた視点の在り方 イ 次年度も継続可能な取り組みにするために ウ 自治体内及び管内等への発信</p> <p>16：30 閉会</p> |
| 内容 | <p>セミナーに先立ち、北海道教育庁保健体育課山上課長より、本事業の運営者の紹介を含めた挨拶があった。</p> <p>続いて、大学側より本事業の目的について、オリンピック・パラリンピック教育について、方向性と進め方について、他地域の実践事例についての説明を行った。特に方向性と進め方については、推進校と地域が連携しムーブメントの拡大を目指していただきたいことや、それぞれの学校における教育理念や目標、さらには教育課程にオリンピック・パラリンピック教育の要素を交えて進めることで負担を軽減できることを強調した。</p> <p>北海道の取組では協力校、教育局との連携を強めて、地域への発信を求め、2021年以降に継続できる方法を考案し、北海道独自のオリパラ教育を推進していただけるよう取り組んでいただきたいとの説明がなされた。さらに推進校を中心に北海道内の全校でオリパラ教育が実践されることを目標として推進校の担当者へ協力を促し、セミナーを終えた。</p> |



会場の様子



協議の様子